

橋梁下部工・土留め健全度診断システム 「IMPACTUS」

【概要】

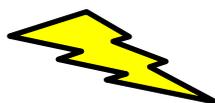
鉄道では、橋梁下部工の健全度診断法として「衝撃振動試験」が活用されています。そのサポートシステムとして「IMPACT IV」をご利用頂いてきましたが、後継機「IMPACTUS」をリリース致します。

IMPACTUSシステム



センサ

無線LAN

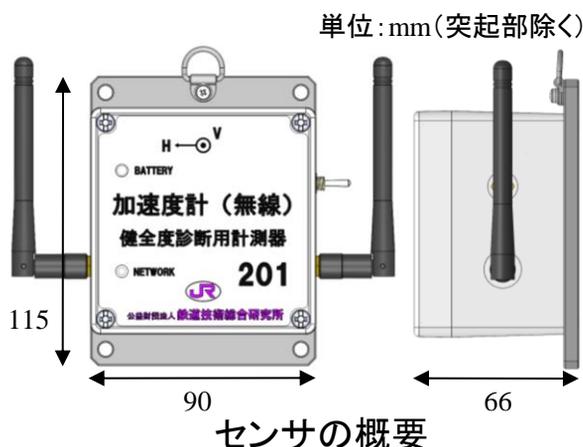


アクセスポイント



ソフトウェア

ノートPC



加速度センサの仕様

	低感度モード	高感度モード
加速度レンジ	±3,920 gal	±200gal
加速度分解能	0.1 gal以下	0.01gal以下
周波数レンジ	0.3 ~ 200 Hz	
質量	約0.9 kg	
保護等級	IP65	

【特徴】

- 水晶を用いた双音叉構造の加速度検出素子により構成されたセンサを用いることで、低ノイズ性能となりました。
- デジタルデータとして出力することにより、低ノイズ・高分解能となりました。
- センサが小型化し、作業性が向上しました。
- 高振動数域まで対象とし、土留めへの適用拡大ができます。
- 従来の衝撃振動試験、常時微動計測にも対応しています。

【用途】

- 橋梁下部工・土留めの個別検査、随時検査に適用

お問い合わせ先

JRSE 株式会社
ジェイアール総研エンジニアリング jrse_eigyou@jrseg.co.jp